



..... 国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....  
**SUITA ESAKA ROTARY CLUB**  
**CLUB WEEKLY BULLETIN**

創立年月日/1990.2.27  
事務所/〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)  
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場/新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30  
会長:庄瀬寛 幹事:橋本豊 会報委員長:北山陽一

2012年6月26日 第1049回例会(第1048号)

🌀 本日の例会 🌀

今週の歌 「それでこそロータリー」

卓話 「次年度方針」

山崎 次年度クラブ運営委員長  
八橋 次年度奉仕活動委員長  
北村(雅)次年度広報委員長

🌀 次回例会のお知らせ(7月3日) 🌀

卓話 「新年度挨拶」

寺井正昭 会長  
成松重人 幹事

本日の会長の時間

「なぜ一業種一会員制か?」 庄瀬 会長  
ロータリーは、その業種の代表で構成されており、多くの異業種の代表と例会の場において、お互いに職業上の情報の交換をして啓蒙啓発され、それを自己の事業や職業に活かしていくというものです。よってその業種の代表であるということは一業種一会員制となるわけです。会員同士が職業上の利害関係にとらわれずに自由に意見交換したり啓蒙しあうにも、一業種一会員が好ましいのです。これはロータリーの極めて大きな特徴です。

ライオンズクラブのように、We serve をするには多くの会員が必要で、同業者からでも何人でも入会できることが好ましいのですが、ロータリーは I serve が基本であり、会員数を単に増やせば良いという組織ではありません。

ただ、2001年の決議により制約はありますが「一業種多会員制」になりました。しかし、一業種一会員制の基本的な趣旨は変わっていないと私は考えま

出席報告 東委員

【6月19日】  
在籍会員 39名(内出席規定適用免除者 10名)  
出席会員 29名(内出席規定適用免除者 7名)  
ホームクラブ出席率 80.56%

5月29日のMUを含む出席率 97.22%

す。なぜならば、現在は専門分野が細分化されているので、ある意味での一業種多会員制の考え方も必要かもしれません。ただし、単に会員増強のために多会員制にするなどは本末転倒で、むしろ一業種一会員制を強調して会員増強を勧めるべきで、むしろその方が増強の効果は著しいはずで

私の会長の時間も今日が最後です、1年にわたり私の話を聞いて頂いた皆さんに感謝を申し上げます。

前回〔6月19日〕例会記録

幹事報告 橋本 幹事

東日本大震災の義援金の内 350,000円を「いわての学び希望基金」へ寄附させて頂きました。  
大森洋子会員より、6月末日付にて退会の申出があり、理事会で承認されました。

関西大学 R A C 例会出席担当

Aグループ 山崎、東、渡辺、田中(茂)、北山、長島、堀田各会員

7月9日(月)・23日(月)

会場：関西大学千里山キャンパス  
中央体育館 図書資料室

時間：19:00~20:00

ロータリー、人類のために活動します (Rotary, Humanity in Motion)

## ニコニコ箱

北村 会員 前回休みましてすみません。

水谷 会員 台北龍門訪問の皆様、おつかれさまでした。

大森 会員 最後のニコニコです。皆様お世話になりました。今月末で退会します。

庄瀬 会員 台北龍門RC12周年式典訪問無事終了しました。

和田 会員 例会欠席のお詫び。

吉野 会員 先週の例会欠席し、申し訳ありませんでした。

本日分 64,000円

累計 1,411,000円

## 卓 話

「今年度事業報告」(6月5日・第1046回)

広報常任委員会 田中 弘 広報委員長  
RCに入会して2年足らずの私に広報委員長の大役を仰せつかり、戸惑う事も多い1年でございました。諸先輩より「活動の90%は会員増強でいいよ!」と言われ、いろいろ考えたりしましたが、果たして成果はどうだったか? と思っております。

地区の勉強会に出席したおり、クラブ独自の会員増強のパンフを作り、成功したお話を聞き、当委員会も予算を頂き作成いたしました。

又、成松会員には「おんぶにだっこ」でしたが、毎週のホームページの更新やレイアウトを助けて頂きました。

ロータリー情報では八橋パスト会長のロータリーの真髄にふれるお話を頂きました。

最後に至らぬ1年ではございましたが、会員皆様のご協力に感謝申し上げます。

## 卓 話

「2011~2012年度 事業報告」

庄瀬 寛 会長

<まず>

「吹田江坂RCとは、志を同じうする者が相集い、奉仕の理想のため、人・物・情報のネットワーク造りに、日夜研鑽している仲間である」という私の理念に基づいた1年を振り返り、事業の報告をいたします。

その前に、橋本幹事ならびに理事役員の皆様方の1年間にわたるご協力と友情に感謝をいたします。また悲しい出来事として、4月22日に杉本理事がお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

<クラブ運営>

- ・12月のクリスマス家族例会では、関西歌劇団のお嬢さん方によるコンサートと桂雀々さんの落語は、ご家族の皆さんに喜んで頂けたと思います。
- ・1月には禁煙活動家の女医、園はじめ先生によるユニークな講演も勉強になる例会でした。
- ・2月の人間国宝の村山明さんをお招きしての拡大例会は、盛況のうちに終わりました。
- ・後半の卓話は「これからの吹田市」というテーマで、維新の会の井上市長、公明党の三浦府議、新選会の神谷市議、自民党のとかしき前国会議員、共産党の曾呂利府議、民主党の上の府議、それぞれ6会派6人の講演に対して、メンバーの皆さん方それぞれの立場から興味を持って聴いて頂けたと思います。

<奉仕活動>

- ・7月の「少年少女ニコニコキャンプ」は、関大RACが次世代を担う若者を育てる青少年奉仕活動の大きな役目を果たしてくれたと思います。
  - ・9月には、米山梅吉記念館を訪問しました。米山梅吉の生涯と日本のロータリーの歩みを詳しく勉強出来た事は、我々ロータリアンにとって永年の思いが実現しました。
  - ・2月には、吹田南小学校で恒例の出前授業を実施しました。西山会員が会計士の話、田中(茂)会員がエコ住宅の話、延会員がシャンソンを歌い、児童全員が盛り上がり楽しい授業でした。
  - ・4月には、友好クラブ台北龍門RCが来日されました。歓迎パーティとお別れパーティでは会場が盛り上がり両クラブの親善もさらに深まりました。また6月には、台北龍門RC12周年式典の参加のため訪台して、MGで寄贈した機器がある台北総合病院を視察しました。
  - ・4月のIMの情報による、東日本大震災の被災孤児救済のための「いわての学び希望基金」に当クラブの支援金を送ることが出来ました。
  - ・関大RACの例会には、メンバーが毎月の当番制にて大学まで出向いて頂きご苦労様でした。
- <広報>
- ・情報集会は京都「貴船の川床」、飛田会員の「和ビストロ 桂」、千里阪急ホテルの中華料理、箕面「一汁二菜 うえの」で蛍の鑑賞、それぞれ親睦を深め有意義な集会でした。
  - ・当クラブのホームページの内容は、レベルも高く完成されており、対外的にも好評です。